

王司小学校の児童が干潟で海浜学習を実施しました

王司地区では、子供たちに地元の海や干潟に親しんでもらうため、王司小学校が毎年、海浜学習を実施しており、山口県漁協王司支店もそのお手伝いをしています。

今年平成 30 年の海浜学習は、王司小学校全校児童 460 名が出席のもと、4 月 27 日に実施されましたので、その様子を報告します。



午前中は、海岸の清掃を行いました。海岸には多くのゴミが漂着しており、子供たちは一生懸命ゴミを集めました。



そして昼食の後、午後からは待望の干潟での潮干狩りです。



最初は、なかなかアサリやハマグリが見つからない様子でしたが、時間が経つにつれ、干潟のあちこちで「アサリを見つけた!」とか「ハマグリがいた!」といった子供たちの嬉しそうな声が聞こえるようになりました。

実は王司の干潟では、平成 15 年頃から、アサリがまったく見られない状況になっていました。

しかしその後、平成 20 年より県漁協王司支店がアサリ資源の回復を目指し、干潟の環境改善や外敵駆除に取り組み、最近ようやくアサリの姿が見られるようになってきたところだったのです。

子供たちの喜ぶ顔を見ると、今回の海浜学習を通じて子供たちに海や干潟の豊かさを学んでもらうことが出来たと感じました。

また今回、お手伝いいただいた県漁協王司支店の方々には、今後もアサリ資源の増殖に取り組み、豊かな干潟を守っていこうと、決意を新たにしていました。

